

樹皮布を さわる つくる

樹皮布（じゅひふ）とは、樹皮の内側にある柔らかな韌皮（じんぴ）の繊維から作られる布のことです。世界各地で、様々な種類の木や技法を用いて作られてきました。南山大学人類学博物館では、アジアやオセアニアの樹皮布製の仮面、衣服や敷物、製作用の道具をコレクションしています。

このワークショップでは、フィジーやソロモン諸島などで樹皮布の調査・研究を行っている、文化人類学者の緒方良子さんを講師に迎え、博物館の資料を「さわる」、クワ科の木の韌皮から樹皮布を「つくる」体験を通じて、多様な樹皮布の文化について学びます。

ワークショップ
2025年9月27日（土）
12:00～16:00

会場 南山大学人類学博物館

講師 緒方良子 氏（北九州市立大学博士研究員）

定員 10名（定員になり次第受付終了）

参加費 無料

プログラム

12:00～13:00 樹皮布のお話 & 資料をさわる

13:15～16:00 樹皮布をつくる



参加申込みは QR コードから



樹皮布製仮面・パプアニューギニア
（今泉コレクション）



樹皮布製上衣（井上耕一コレクション）



樹皮布・ソロモン諸島（今泉コレクション）